



蒲田交信局



いつも大変お世話になっております。青沼隆宏です。今月は蒲田交信局 1 周年。前回の自己紹介では家族紹介が出来ていなかったので今回は家族紹介をします。

一番新しい家族は茶トラ猫のマイケル(6 ヶ月)です。我が家に来たのは 7 月でした。蒲田駅近くで里親募集しているところを貰ってきました。そもそものきっかけは我が家にネズミが出たためです。ネズミ番が彼の役目です。お役目はしっかり果たしています。彼が来てからネズミの姿を見かけなくなりました。

2 番目に新しい家族は娘です。小学校 2 年生 7 歳です。趣味は物づくり。水泳と狂言を習っています。物づくりは父親似かなと思います。釣りも好きで、私に付き合ってくれます。性格は頑固です。誰が何を言おうが、何か言い出したら曲げません。

3 番目に新しい家族は息子です。小学校 4 年生 10 歳です。趣味は水泳。今年の 3 月から選手コースに入り、毎朝 5 時半から 7 時まで泳いでいます。その後一度帰宅してから登校しています。私が 10 歳の頃はこんな根性ありませんでした。誰に似たのかな？妻は思いっきり文系人間なので、妻ではなさそうですね。

最後は妻です。妻とは大学時代からの付き合いです。知り合ってから既に人生の半分以上経ちました。結婚が 30 歳の時ですから、付き合ってから 10 年・結婚して 14 年になります。妻にはいつも助けられています。結婚した時はアメリカで仕事をしている時期でしたが、結婚する少し前にストレス(多分)でうつ病になりました。ある朝起きることが出来なくなりました(目覚ましかけてもまるで気付かないんです。当時はバージニア州リッチモンドという町に住んでいました)。リッチモンドの 6 月はとても気候の良い時期です。その晴れ渡ったとっても気持ちの良い青空を見上げながら、毎朝「人生おしまいだなあ」なんて思うんです。うつ病って怖いですよ。それを当時日本にいた彼女が直してくれました。週一で通院しながら日本にいる彼女に毎日電話で話しをするんです。そうすると、どんどん気持ちが楽になって 9 月には通院もしなくてよくなりました。助けられました。「結婚しなきゃ」って思ったのもその時です。付き合ってから 10 年も経つとなんとなくきっかけも無くてズルズルしてしまうんですよね。バカだったなと思います。そういう意味ではうつ病に感謝です。紙面がなくなってしまったのでマキシーンの話は後日に。

青沼隆宏

誕生日:1970年1月1日

血液型:AB型

家族構成:妻・息子・娘・マキシーン(ゴールデンレトリバー)・マイケル(茶トラ猫)

趣味:釣り・自転車・キャンプ・スキー

大学卒業後、会計事務所に勤務。28

歳から31歳までは米国で会計事務所勤務。2001年2

月に帰国、2002年6月から現職。



昔から知っている友人なら、お前がうつ病かよ！！って言うと思います。自分自身でも意外。アメリカ人の上司に風邪引いたんじゃない？って感じで病院へ連れて行かれました(笑)。



株式会社 城南村田 かわら版

2014年 12月号

蒲田交信局



いつも大変お世話になっています。営業部の浅野です。久しぶりの登場となってしまいました。今回は「一番楽しかった思い出」について書かせていただきます。よろしくお願いします。

私が学生を過ごした 1990 年代、バンドブームというものが有りました。原宿の歩行者天国（ホコ天）では様々なバンドがライブを行い、テレビをつければ次から次に新しいバンドが出てくる。バンドを追っかけた雑誌も多く、ミュージシャンが音楽に賭ける想いや裏話を楽しみに読んでいました。いつかは「ホコ天」に行ってみたいな、と思いながらも、いつのまにか規制が入り、路上ライブが禁止になってしまったのは残念でなりません。

当時中学生だった私は、友達の家で始めてエレキギターを弾かせてもらいました。高校受験を控えながらも毎日のように友達の家遊びに行き、ギターを、それも一つのフレーズだけを繰り返し、繰り返し教えてもらいました。

何回かやっていくうちに、いままでバタバタと指を動かしていただけなのに、なんとなくメロディらしく聞こえる瞬間がやってきました。「これだっ！！！」と思い、楽しくてずっと弾いていました。

それからは自分でもギターを買い、好きなミュージシャンのコピーをして、毎日練習をしました。

後から知ったのですが、それは「Big Star Blues (ビッグスターの悲劇)」という、サザンオールスターズの曲でした。彼が好きで、そういえば一緒に「稲村ジェーン」も観に行きました。よく一緒に楽器屋さんに行ったりと、青春でした。

今でもギターが好きで、下手ながら続けていますが、あのギターのフレーズが弾けた感動が忘れられないからだと思います。

最近はやっていないのですが彼もバンド活動を続けていて、大人になった今、セッションをしたら楽しいだろうな、と考えています。